



SMILE

笑顔あふれる東山中

★教育目標★

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 心身を鍛え 実践する生徒 | = つよく = |
| | Be Strong |
| 2 自ら進んで 学びとる生徒 | = かしこく = |
| | Be Smart |
| 3 豊かな心を持ち 協力する生徒 | = あたたく = |
| | Be Kind |

目黒区立東山中学校

〒153-0043 東京都目黒区東山1-24-31 TEL 03(3711)8794

校長 西田 友幸

FAX 03(3711)8896 <http://www.meguro.ed.jp/meghyjhs/>

この思い出

副校長 波田野 貴之



5月になりました。新しい学校、学年、クラス、部活での生活も早いもので1か月が過ぎましたね。4月に比べ、新しい仲間との会話も増えてきたのではないのでしょうか。実は、こうした時期によくある出来事があります。「話した側」と、「受け取った側」で、捉え方が違うことがあるということです。こんなことを「言ってもらえた」or「言われた」、「うれしかった」or「嫌だった」、「また話したい」or「しばらく話したくない」、、、、。

先日、大学4年生になった卒業生達が私を訪ねてくれました。昔話の中で、私がかつて学年集会でした「ボールペンのキャップ」の話が話題になりました。私は当時、「ボールペンの消しゴムキャップのような小さいものをなくしても、見つけて届けてくれた生徒がいた。この学年は素晴らしい」という感動秘話のつもりで話しました。身近なことを題材に生徒の心に響いた良い話が出来たと、当時の私は手ごたえを感じてました。ところが、卒業生達は「集会でわざわざキャップの話をするなんて、この先生は一体何者なんだろう？」と不思議に思っていたそうです。学年の生徒200人の全員ではなかったかもしれませんが、「良かれ」と思って伝えたことが、相手には全く違う形で届く。自分の考えを伝える難しさを、改めて実感した出来事でした。

知らず知らずのうちに、思い込みや勘違いは生まれるものです。会話が弾む今だからこそ、少しだけ相手の気持ちに想像力を働かせてみてください。もし「今の言葉、どういう意味かな？」と不安や悩みがあれば、一人で抱えず、担任の先生や学年の先生に相談してください。



直接相談に行かなくても東山中学校では、kind time（15時15分～30分）で教育相談を行っています。
 申し込み方法は、学習用情報端末から、L-Gate>教材・アプリ>東山中kindtime教育相談窓口です。
 相談したい時期や先生（スクールカウンセラー含む）を入力することができます。
 一度試してみてください。